28 敬語の基本

学習目標
● 敬語の種類を理解しよう。
● 場面に応じて敬語を適切に使えるようにしよう。

要点のまとめ

●尊敬語

尊敬語とは？ ある人の動作や事物などを高めることによって、その人に対する敬意を示す表現。

例 先生が教室に来る。
← 「先生」の動作（＝来る）を高める。
先生が教室に来られる。 …「先生」への敬意を示す。

●謙譲語

謙譲語とは？ 自分や自分側の人（家族など）の動作などをへりくだって言うことによって、相手に対する敬意を示す表現。

例 私が先生に予定を伝える。
← 自分（＝私）の動作（＝伝える）をへりくだって言う。
私が先生に予定をお伝えする。 …「先生」への敬意を示す。
例 母は後から参ります。 …自分側の人の動作をへりくだって言う。
※謙譲語のうち、自分の側の動作をかしこまって言うことによって、聞き手や読み手を高める表現を、丁重語とよぶことがある。
例 私は山田と申します。

●丁寧語

丁寧語とは？ 話し方や書き方を丁寧にすることによって、聞き手や読み手に対する敬意を示す表現。「……です」「……ます」など。

例 もうすぐ二時だ。
← 文末（＝だ）を「……です」に変える。
もうすぐ二時です。 …聞き手への敬意を示す。
※丁寧語のうち、接頭語「お」「ご」を使って柔らかく言う表現を、美化語とよぶことがある。
例 お湯をわかします。 例 ご本を読みましょう。

■尊敬語・謙譲語の表現（動詞を使うもの）

特別な動詞を使う表現（主な例）

普通の語	尊敬語	謙譲語
する	なさる	いたす
いる	いらっしゃる	おる
行く・来る	おいでになる	参る・伺う
言う・話す	おっしゃる	申す・申しあげる
聞く		伺う・承る
見る	ご覧になる	拝見する
食べる・飲む	召しあがる	いただく
やる・与える		差しあげる
もらう		いただく
くれる	くださる	

「お（ご）……になる」「お（ご）……する」を使う表現
- お（ご）……になる＝尊敬語 例 お持ちになる
- お（ご）……する ＝謙譲語 例 お持ちする

助動詞を使う表現
- 尊敬の助動詞「れる（られる）」を使う。
例 先生がアメリカに行かれる。
お客様が私の家に来られる。 ＝尊敬語

確認問題

1 敬語の種類　次の――線の敬語の種類として適切なものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 校長先生のおっしゃることを書き記す。
② 保護者の方の案内は私がいたします。
③ ここが私たちの中学校です。
④ お客様に道順をご説明する。
⑤ 先生が文章をお書きになる。
⑥ 皆さんに資料を配ります。
⑦ 今日はいろいろな方が来校される。

ア 尊敬語　イ 謙譲語　ウ 丁寧語

① [　　]
② [　　]
③ [　　]
④ [　　]
⑤ [　　]
⑥ [　　]
⑦ [　　]

ポイント 尊敬語か謙譲語かを見分けるときは、誰の動作なのかに注目する。④「ご説明する」は、「お客様」に対する「(自分)」の動作である。

2 尊敬語　次の――線の言葉を尊敬語に直しなさい。

① 先生は職員室にいる。
② お客様が新聞を読む。
③ これはお世話になった方がくれたものです。
④ 教頭先生が生徒へメダルを渡す。

① [　　]
② [　　]
③ [　　]
④ [　　]

ポイント ①・③は特別な動詞を使う表現。②・④は「お(ご)……になる」を使う表現でも、尊敬の助動詞を使う表現でも、尊敬語に直すことができる。

3 謙譲語　次の――線の言葉を謙譲語に直しなさい。

① 隣の家の方からお土産をもらう。
② 明日の三時にそちらへ行く予定です。
③ 自宅で収穫した野菜をお客様にやる。
④ 雨が降ってきたので、先生に傘を貸す。

① [　　]
② [　　]
③ [　　]
④ [　　]

ポイント ①～③は特別な動詞を使う表現、④は「お(ご)……する」を使う表現で謙譲語に直すことができる。

4 敬語の使い方　次の――線の言葉を適切な敬語に直しなさい。

① 先生は、私が描いた絵を拝見した。
② どうぞ料理をいただいてください。
③ お客様、お荷物は私がお持ちになります。
④ 校長先生が申された言葉を、決して忘れません。
⑤ この椅子にお掛けになられてください。
⑥ 父がまもなくそちらへいらっしゃいます。

① [　　]
② [　　]
③ [　　]
④ [　　]
⑤ [　　]
⑥ [　　]

ポイント 尊敬語と謙譲語のどちらを用いるべき場面なのかを考える。「お(ご)……になる」は尊敬語、「お(ご)……する」は謙譲語。